

# ベトナム・タイムズ

— 3月6日(月) —

お問い合わせは：E-mail [vietnamtimes@hotmail.co.jp](mailto:vietnamtimes@hotmail.co.jp)

または 050-3735-6652 (日本) まで <http://vietnamtimes.jp>

## 【政治・政策】

TT(1) **車輸出 鶏肉**の安全性向上へ国家計画策定(農業・地方開発省)：養鶏に力を入れる地方省人民委員会も個別に計画を策定&疫病予防や食肉処理施設の安全性向上策を実施／農業省は企業が自前の食肉処理施設設置や衛生管理の強化実現を支援

P(2) **フック首相、仏パリ空港公団ロマネ会長と会談**：両国関係強化への貢献に期待&ベトナムの投資環境の安全性と政治・社会の安定などアピール

VE(3) **キエンザン省フーコック島の平均所得を4倍に**：2030年までに1万3000ドル目指す／今後5年間で約33億ドルの税収見込む

## 【経済】

VE(4) 『国内メーカーに

生産車種絞り込みの動き』

商工省重工業局ホアイ局長はハノイで開催されたセミナーで、一部の国内メーカーが競争力ある主力車に生産を絞るために車種を削減していることを明らかにした。2018年までに東南アジア諸国連合(ASEAN)物品貿易協定(ATIGA)によって自動車輸入関税が0%に引き下げられることが背景にあるという。ホアイ局長は「自動車の使用が急速に拡大しており、現在の消費量は既に20年の予測に達した」と述べる一方、ゼロ関税を前に国内自動車産業は多くの欠陥を抱えていると指摘した。重工業局の統計によれば13~16年に国内組み立て自動車と輸入車は平均30%増加した。国産車は市場需要の70%を賄っている。ただ、消費者は「国産車は価格が高く、品質が輸入車よりも低い」と指摘する。商工省は「技術障壁を通じた国内市場に合った保護策」「税申告と原産地証明の偽装防止」「大規模な部品・原材料の国内供給システムの形成」を検討している。

SG(5) **会社設立**：1~2月1万4451社(前年同期比3.9%増)&資本金総額152兆6000億ドン(同35%増)、1社あたりの平均資本金額106億ドン(同29.9%増)→特に不動産分野で同43.4%の大幅増／増資も計181兆3000億ドン、活動停止していた企業の事業再開が7977社(同7.6%増)

T0(6) **緑茶**の販路開拓で北米に注目：北米の茶市場が急拡大中→米国とカナダを市場調査へ／ベトナムは茶の生産量が世界7位、輸出量は同9位、栽培農家は35万軒超

T0(7) **韓国**ハンファ・テックウィン・セキュリティーズによる1億ドルの投資計画承認(バクニン省)：クエポ工業団地の敷地6haに電子回路、半導体、電子チップなどを製造する工場建設／同省では2015~20年は電子・電子機器製造業を優先的に認可

T0(8) 『英EU離脱で

輸出への影響懸念=特に縫製と水産分野』

英国の欧州連合(EU)離脱やイタリアの首相辞任などの不安定要素を背景に、ベトナムで対EU輸出への影響を懸念する声が大きくなっている。特に、繊維・縫製と水産分野の企業が心配を募らせている。ピナテックスのチュオンCEO(最高経営責任者)は、「今月末には離脱問題の影響が開始するだろう」と予想する。同社の傘下各社も、第1四半期末までの注文は十分に得ているが、第2四半期以降は厳しくなるとみている。ベトナム繊維・縫製協会では、英国がEUから離脱するとの情報を得てまもなく、商工省へ書簡を送り、17年の輸出額目標を310億ドルから290億ドルに引き下げることを入れた。同協会ゼン会長はその理由を「英国はベトナムがEU向けに輸出する繊維・縫製品の21%を占め、EU内における最大の輸入国だが、すでに英国からの注文は激減しており、輸出の多くを英国に頼っている企業は注文獲得に苦労しているため」と説明した。

P(9) **中小企業**支援で日本の経験に学ぶ：計画投資省がシンポジウム開催(同省は中小企業支援法案を政府に提案する方針)

T0(10) **日本**の健康管理・美容・介護分野の商品・サービスに関する展示会がイオンモール・ロンビエン(ハノイ)で開催：日本から51の企業・団体が参加→高い技術を使った商品や質の高いサービスを紹介

## 【社会】

VE(11) **現金自動預払機(ATM)から紙幣ではなく紙片が**：利用者もびっくり／システムの更新作業中で現金の代わりに紙幣を模した紙片を使用して試験稼働中だった

P(12) **交通事故**：2月1763件(前月比3.6%増)→死亡826人&負傷1482人

## 【その他】

VE(13) **両陛下**ベトナム訪問：独立運動家ファン・ボイ・チャウの記念館を訪問／「東遊(ドンズー)運動」で日本に縁(仏側の圧力で困窮したチャウらを静岡県出身の医師浅羽佐喜太郎が物心両面で支援したエピソードは日越友好の象徴の1つ)

D:ダウ K:キエンサイゴン SG:サイゴンザイフォン B:ビエンフー P:ベトナムラ S:サイゴン TT:トイ H:ハノイ VN:VNエコミー VE:VNエクスプレス T0:その他

本誌はベトナム主要紙をそのまま翻訳したものです。記事内容については本紙の責任外になります。

在ベトナム日本国大使館ホームページ <http://www.vn.emb-japan.go.jp>

社団法人ベトナム協会 <http://www.javn.jp>